



教育は「協育」

教育長 津野庄一郎

新年度とともに地域で子どもたちを育む活動も始まり、関川小・中学校でも、希望に胸をふくらませた新入生が新しい学校生活の一步を踏み出しました。入学式で加藤村長は「家庭と学校、地域が一体となって村の子どもたちを育てていく」と話されました。子どもたちの健やかな成長を支えるために、子どもとかわる全ての人々が、ともに手を携え、子どもを育てることを「協育」と言う人がいます。



4月1日夜、公民館大ホールで「関川スポーツ少年団（八幡良市本部長）」の入団式があり、総勢110名余りが集いました。ミニバス・バレーボール・ソフトテニス・野球・柔道の他に今年はハピネスダンス教室も加わり、小学生の活動の受け皿が広

がりました。また、4月5日には「第21回 荒川クリーン作戦」が行われ、小中学生や村民が参加（100名余）し、河川敷のゴミ拾いをして汗を流しました。さらに4月8日～10日の朝は、関川小・中学校合同の「あいさつ運動」が行われ、小学校玄関では教職員や中学生が、横断歩道では見守り隊ボランティアの方々が言葉がけをしてくださいました。今年は「関川村更生保護女性会」（堀恵子代表）の方々も参加してくださいました。この他、「関川地域クラブ」（主に休日）、「放課後こども教室（せきともクラブ）」（火曜日）、「関川村緑の少年団」（中学生含め20名）の活動も本格的にスタートします。

今年も関川っ子が、座学だけではない経験や、地域の方や異学年の仲間とのかかわりを通して多くのことを学び、豊かに成長してほしいと願います。

<【写真】上からスポ少入団式、荒川クリーン作戦、あいさつ運動小・中の様子>

※「教育長だより」「教育長ブログ」は、関川村ホームページからもご覧になれます。